

「基金運用を通じた ESG 投資」を実施

～北九州市が発行する「サステナビリティボンド」を購入しました～

直方市(直方市長 大塚 進弘)は、2030 年までの SDGs 達成の為に「基金運用を通じた ESG 投資」の一環として、2023 年 9 月 22 日(金)に北九州市が発行するサステナビリティボンドを購入いたしました。

【URL】https://www.city.nogata.fukuoka.jp/shisei/_1236/_13302.html



実施内容

基金の運用を通じて SDGs の推進に貢献するため、2023 年 9 月 22 日(金)、北九州市が発行するサステナビリティボンド(※1)を購入しました。本市が同市のサステナビリティボンドを購入するのは、今回が初めてとなります。

本債券の発行による調達資金は、「温室効果ガスの排出削減」「エネルギーの利用削減」「水災害など発生時の浸水、土砂被害の緩和」「汚染物質の排出削減」「多種多様な希少生物の生息地の保全」「子育て・教育環境の整備」「防災機能の強化等」といった便益を見込んで、グリーン/ソーシャル適格プロジェクト分類に該当する事業に充当されます。

本債券への投資を通じて、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の「3:すべての人に健康と福祉を」「4:質の高い教育をみんなに」「5:ジェンダー平等を実現しよう」「6:安全な水とトイレを世界中に」「7:エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「8:働きがいも経済成長も」「9:産業と技術革新の基盤をつくろう」「10:人や国の不平等をなくそう」「11:住み続けられるまちづくりを」「12:つくる責任つかう責任」「13:気候変動に具体的な対策を」「14:海の豊かさを守ろう」「15:陸の豊かさを守ろう」の達成にも貢献します。

(※1) 環境的課題及び社会的課題の双方の解決に資するプロジェクトの資金調達のために発行される債券のことであり、ESG(※2)投資の対象となります。

(※2) ESG とは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG 投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと。資金の用途によりグリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンド等に分かれます。

取組に至った背景

本市では地方自治法の趣旨を踏まえ、基金の一部を活用し、安全性の確保を第一に効率性も考慮し

た債券運用に取り組んでいます。また、本市は、令和 4 年 5 月に内閣府より「SDGs 未来都市」に選定されるとともに、国連の持続可能な開発目標(SDGs)と同じく 2030 年を目標期限とする第 6 次直方市総合計画において『未来へつなぐ～ひと・まち・自然～』を都市将来像として掲げ、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

その取組の一環として、環境改善や社会貢献に寄与する事業を資金使途とする ESG 債(グリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンド)への投資を行うことで持続可能な社会の形成に寄与し、社会的使命・役割を果たすとともに、購入の際には投資表明を行い、対外的に公表します。ESG 債の発行によって調達された資金は、事業への充当を通じて SDGs の達成に貢献するものとなっています。

北九州市について

【自治体概要】

自治体名:北九州市

所在地:〒803-8501 北九州市小倉北区城内 1 番 1 号

代表者:北九州市長 武内 和久

URL:<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/index.html>

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

直方市 会計課 会計係 担当:武内

TEL:0949-25-2102

e-mail:n-kaikei@city.nogata.lg.jp